

佐伯区まちづくりフォーラムが以下のように実施されましたので報告します

砂谷地区HP部会 賀張

日時:平成25年2月26日(火)PM1時45分～4時

会場:佐伯区民文化センタープログラム

アトラクション

マンドリンアンサンブル ミナーガによる演奏

第1部 基調講演

「住民のアイデアがまちを創る」

寺谷誠一郎(鳥取県智頭町長)

第2部 パネルディスカッション

「住民主体のまちづくり～佐伯区まちづくり百人委員会」

## 第1部基調講演 要旨

現在政治家や地方自治体首長、議員、職員にニセモノが蔓延っている。東北大震災でのあの政府の対応、何故すぐ該当県知事呼んで1000億円渡すから即刻復旧に全力を挙げよというようなことができなかったのか。議員にしても国のため国民のためといってるがその本音は自分のためとしか思えない。自治体職員も最初は住民のためという気持ちを持っているが、年を経るにつれてそれも薄れてくる。そういう私も本物と言い切れません。

住民も自分ではまちのために何もしないくせに文句ばかりいう人がいます。私は要求だけする人は相手をしません。要求ではなく提案をしてくださいといっています。そしてまちのために自分は何をできるかを少しでいいから考えてください。

智頭町は面積の93%が山林で、人口が約8千人の小さな町です。町おこしのきっかけになったのは他所からこの町に来たあるお母さんの一言でした。それは「こんな素敵な森の中で生活ができるのは大変幸せ」でした。それまで町の住民は森とはとらえず、山林として捕らえていました。大震災が起きた後、疎開先を探している被災者が数多くいることを知り、町のコンセプトを「緑の風が吹く疎開のまち」として町おこしに取り組みました。そこで住民の提案を募集しました。

今国、県、市町村に金がないことを理由にまったく何もしなくてじっとしている首長が増えてきています。しかし金がなければ知恵を出せばいいのです。そこで町の活性化を考える「百人委員会」を立ち上げました。そこから出たアイデアを基に実施している施策は次のとおりです。

### 1. 森の幼稚園

今の子供たちは外で遊ぶことが少なく、また親もすぐに干渉します。そこで園児を森の中で自由に遊ばせ、大人は手を貸さず木や植物とふれあい、小川で遊ぶ、好きな本を読むなど自由に時間を過ごすようにしました。これでストレスが発散できるのです。この活動はNHKで放映され、世界中の国に紹介されました。今ではハンガリー、イギリス等からの移住の話もきています。

### 2. 森林セラピー

森林は町の大切な財産として捕らえ、森の持つ癒し効果に着目し、「森林セラピー」をまちづくりのメインテーマの一つとして取り組んでいます。森のガイドを養成、確保し森を訪れた人たちに、森の空気を味わう、色彩を感じる、ゆっくり散策などのメニューを提供しています。コースには芦津セラピーロード、こもれびの森等があり、民宿も用意しています。

### 3. 疎開保険

智頭町が独自に企画した災害を切り口とした地域間交流、物流、商流による地域おこしです。保険加入者には、特典として智頭町の特産品(お米、野菜)を送っています。保険は日本在住者誰でもOKで先着1000名となっています。疎開の受け入れ条件は地震、噴火、津波などを原因とする災害救助法が発令された地域の加入者としています。この制度で野菜などを作っているお年寄りが生きがいをもち元気になっています。

### 3. 森林間伐事業

山林の間伐に対して6000円(内半分が町の補助)/tの智頭町商品券を提供し、間伐の促進と地元商店街の活性化を目指しています。

まちづくりでのポイントは

1. 住民の想い、意見を尊重する。
2. 女性の参画を促す。
3. 住民一人ひとり何か一つできることを余り気張らずに楽しく行う。
4. リーダーには最初は外部からUターン、Iターンした人が良い。以上

## 第2部 パネルディスカッション”住民主体のまちづくり～佐伯区まちづくり百人委員会”

佐伯区まちづくり百人委員会 平成24年4月設置

住民が区が設定したテーマごとに区全体のまちづくり計画を立て事業を実施するとしています。

### 区が設定した5つのテーマ

- ・花いっぱいのもちづくり
- ・高齢者に優しいまちづくり
- ・商店街活性化による賑わいのあるまちづくり
- ・町内会の加入促進・活性化によるまちづくり
- ・湯来・湯ノ山温泉街道の資源を生かしたまちづくり

以上の5テーマについてそれぞれの代表者から活動内容の報告があり、寺谷町長のコメントをいただいたりして活動の促進について意見を交換しました。

砂谷地区に関係の深い湯来・湯ノ山温泉街道部会では光本部長から以下の報告がありました。

#### ◎部会のテーマ 湯来・湯ノ山温泉街道の資源を生かしたまちづくり

1. 住民が生まれ育った地域に誇りと愛着を持ち誇りに思うまちづくり
2. 観光客を多く受け入れること(交流人口増)による地域の活性化
3. 地域にお金が落ちる仕組みづくり

#### ◎これまでの実施決定事業

- ・湯来ヒルクライム

3月24日(日)天上山(約10km)広島初の自転車登山レース

- ・検討した事項

情報マップ作成、オープンガーデン、特産品、ツアータクシー、大名行列、案山子

#### ◎今後の事業計画案

- ・湯来地区のテーマ別まち歩きガイドツアーの実施とガイドマップの作成  
(テーマ)温泉、滝、神社、こんにやく等  
(ガイド)知識と意欲のある地元住民を活用  
(講師)地域のその道のプロ
- ・古民家を活用した湯来の体験交流イベントの実施  
(テーマ)湯来の文化、生活習慣、自然等  
(イベント)草履作り、川遊び、音楽会、月見会  
(講師)地域のその道のプロ

次のページでフォーラムの実施状況写真をご覧ください。

・ミナーガによるマンドリン楽曲演奏

